

日教振第134号
令和4年1月21日

各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

令和3年度日本語学校教育研究大会の開催について(ご案内)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしました。つきましては、ぜひ多数の方にご参加いただきたく以下の通りご案内いたします。

記

本大会はオンラインイベントサイト (EventHub)を利用して開催します。プログラム等詳細については、日本語学校教育研究大会特設サイト<<https://www.kenkyutaiikai.com>>でもご案内・随時情報更新をいたしますのでぜひご覧ください。

参加をご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- 1) EventHub フォーム<https://client.eventhub.jp/ticket/zinT_zyqrj>
- 2) google フォーム<<https://forms.gle/xdTro7nudy9wiHpB9>>

申込締切日 2021年2月16日(水)

(添付資料)

- 別紙1 大会実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 大会日程
- 4 事務連絡
- 5 メール用参加申込書

問合せ先 事業部 (小野寺陽子・渡部)

TEL 03-6380-6557

FAX 03-6380-6587

Eメール nisshinkyu2@gmail.com

HP <https://www.nisshinkyu.org/>

令和 3 年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

2 実施方法 オンライン開催

3 日程

2月26日（土）1日目

10:00～10:30	開会挨拶・大会趣旨説明
10:30～12:00	出入国在留管理庁・文化庁講演
	昼休憩
13:00～15:00	分科会
15:10～16:00	企業・団体展示ブース
16:10～17:10	交流会

2月27日（日）2日目

10:00～12:00	分科会
	昼休憩
13:00～15:45	実践ちよつと見

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者としてします。
- (2) 1機関から多数の教職員が参加していただいて差し支えありません。ただし、定員（450人）を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みおきください。両日又はいずれか1日のみの参加でも結構です。

5 参加費

維持会員及び準会員機関	3, 300円（税込）/1人当たり
賛助会員	4, 400円（税込）/1人当たり
その他の教育機関、個人	5, 500円（税込）/1人当たり

〈令和三年度日本語学校教育研究大会趣旨〉

大会テーマ『日本語学校教育の挑戦Ⅱ—with コロナ・post コロナ・そして New normal へ』

大会委員長 大嶋智規（ヒューマンアカデミー日本語学校東京校）

令和の時代に入り、日本語教育の推進に関する法律の成立、日本語教育機関の告示基準の改正など、日本語教育界にとって大きな動きがありました。本研究大会も、新型コロナウイルスの蔓延により、昨年度、初めてオンラインでの開催を行いました。

令和三年は、新型コロナウイルス感染症に歯止めがかからず、政府の水際対策により、留学生を含む外国人の新規入国が原則禁止となり、今に至っています。コロナ感染症に翻弄されている中であっても、学びを止めず、学生同士を、また学生と日本語学校をつなぐ教育を模索しながら、日本語学校の役割や意義を再考する一年だったのではないのでしょうか。

このような一年を振り返り、そして未来に日本語学校教育を繋ぐことを目指し、本年度も昨年度のテーマを踏襲し、『日本語学校教育の挑戦Ⅱ—with コロナ・post コロナ・そして New normal へ』のもと、オンラインによる大会開催といたしました。

大会一日目は、はじめに、出入国在留管理庁から、コロナ禍が続く中での水際対策や外国人留学生の在留管理についてお話をいただき、続いて、文化庁から、日本語教師資格等制度の法制化に向けた検討や、ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業についてお話いただきます。午後には、日本語学校からの発信として三つのトピックについてみなさんと考えていきます。一つ目は、多くの日本語学校で導入されたオンライン授業について、二つ目は、世界の教育の潮流は、日本語学校教育をどう変えてきたか、今後どう変えていくのかについて、そして三つ目はコロナ禍において一時は交流がストップしてしまった地域との関わりについてです。今後の日本語学校教育の在り方を探る一歩としたいと思います。

大会二日目は、私たちが今後の日本語学校教育をより良くしていくための新たな学びの場としました。午前のプログラムで三つの分科会を予定しております。(1) オンライン授業を経験してきたからこそ改めて魅力ある授業を考えるためのインストラクショナルデザイン、(2) SNS、インスタグラムなどインターネット上のツールを活用した日本語学習、(3) 留学生の受け入れやその仕組みのデザインを考えることができるサービスデザイン・ユーザーEX です。私たちがこれまで挑戦し続けてきたことを再度振り返り、今後へつなげる時間としたいと思います。そして、午後には、昨年度に引き続き、日本語教育機関や教職員が果敢に取り組んだ教育活動を共有することを目的に、「実践ちよっと見」を開催します。発表者と参加者で意見交換をしていただき、明日からの実践へのヒントにしていただきたいと思います。

今大会はオンラインイベントサイト (EventHub) を利用しての開催となります。これは私たち大会委員の新たな挑戦です。みなさまの大会参加を有意義なものにすると同時に、New Normal な研究大会として行っていきます。

私たち日本語学校が挑戦し続けることは、すでに来日している留学生にも、そして来日を心待ちにしている待機留学生にも大きな力となると確信します。本大会を、共に日本語教育を語り、考え、明るい日本語学校教育実践を生み出す場にしていきましょう。

令和3年度日本語学校教育研究大会日程

日程：令和4年2月26日(土)、27日(日)

テーマ：日本語学校教育の挑戦Ⅱ－ with コロナ・post コロナ・そして New normal へ－

1日目 2月26日(土)

定員 450人

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 来賓挨拶 大会趣旨説明 大会委員長 大会委員長 大嶋智規(ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 教務主任)
10:30～11:15	講演「コロナ禍の留学生の在留管理(仮)」 出入国在留管理庁 担当官 ※EventHub で質問受付中 受付期限:2月13日(日)
11:15～12:00	講演「日本語教育の資格化、類型化。日本語教育の参照枠(仮)」 文化庁国語課 担当官 ※EventHub で質問受付中 受付期限:2月13日(日)

13:00～15:00	分科会「オンライン授業と日本語学校 DX」 詳細は決まり次第ご案内します。
	分科会「日本語教育の参照枠と日本語学校教育を考える －世界の教育の潮流と教育カリキュラムの改善事例を参考に－」 事例発表 ヒューマンアカデミー東京校、カイ日本語スクール、他1校予定 パネルセッション 奥村三菜子(NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち副理事) 真嶋潤子(大阪大学 名誉教授) 松井孝浩(文化庁国語課 日本語教育専門職) 奥田純子(コミュニカ学院 学院長)(進行)
	分科会「地域と日本語学校教育」 森恭子(新宿日本語学校 副校長) 得猪節子(ジェット日本語学校 教務主任) 荒川友幸(日本国際工科専門学校日本語科教務課長)
15:10～16:00	企業・団体展示ブース
16:10～17:00	交流会

2日目 2月27日(日)

10:00～12:00	分科会「魅力ある授業を考える！～New Normal な日本語教育デザイン～」 鈴木克明(熊本大学 教授システム学研究センター 教授)
	分科会「冒険家メソッド～自由で危険なネットの海で第二言語をいかに習得するか～」 村上吉文(国際交流基金 日本語上級専門家)
	分科会「サービスデザイン・ユーザーEX」 詳細は決まり次第ご案内します。
13:00～15:45	実践ちよつと見 発表者・発表テーマは決まり次第ご案内します。

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。

令和3年度日本語学校教育研究大会 事務連絡

I EventHub について

本大会はオンラインイベントサイト(EventHub)を利用して開催します。EventHub では、① 大会プログラムの確認 ②プログラム(Zoom ミーティング)へのアクセス ③資料の閲覧、ダウンロード ④参加者同士のメッセージ交換、オンライン名刺交換 ができます。

本大会への参加を有意義なものにしていただくために、ぜひご参加の前に別紙マニュアルをご一読ください。

II 参加申込みについて

以下のいずれかの方法でお申し込みください。ご参加には EventHub 登録用のメールアドレスが必要です。

【！】他の方と共有できませんので、お一人様につき1つのアドレスをご用意ください。

【！】招待メール・大会のお知らせ等を「@eventhub.jp」ドメインのメールでお送りします。ドメイン指定をされている場合は、「@eventhub.jp」を受信可能に設定してください。

1人ずつ クレジット決済	EventHub フォーム https://client.eventhub.jp/ticket/zinT_zyqrj
-----------------	--

【！】支払いはクレジット決済のみ。

【！】1度の手続きにつき1人分のみお申し込み可能。2人目以降のお申込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。

- ・申込み～参加費支払い～EventHub ログインまで web で完結します。
- ・領収書(PDF)は、EventHub から印刷またはダウンロードできます。

1人～10人まで 銀行振込	google フォーム https://forms.gle/xdTro7nudy9wiHpB9
------------------	--

【！】支払いは銀行振込のみ。

参加申込み受付後、3日以内(土日祝日除く)に、当協会から受付番号・参加費金額・振込先口座等が記載されたメールをお送りしますので銀行振込にてお支払いください。お支払いを確認後、EventHub へログインするための招待メールをお送りします。

- ・10人までまとめてお申込みができます。11人目以降のお申込みは、再度フォームにアクセスしてお申し込みください。
- ・領収書の発行はいたしません。銀行の発行する振込金受領書をご利用ください。

申込締切 2022年2月16日(水)

上記方法でのお申し込みが難しい場合は、Eメールでのお申込みも受け付けます。

参加費

維持会員及び準会員機関	3,300円(税込)/1人当たり
賛助会員	4,400円(税込)/1人当たり
その他の教育機関、個人	5,500円(税込)/1人当たり

- ・参加の有無に関わらず、参加費ご入金後の返金はできませんのでご注意ください。
- ・銀行振込の場合、振込手数料は参加者または各所属機関でご負担願います。

Ⅲ 講演に対する事前質問について

2月26日の講演「コロナ禍の留学生の在留管理(仮)」(出入国在留管理庁)及び「日本語教育の資格化、類型化。日本語教育の参照枠(仮)」(文化庁)については、事前に講師への質問を受付けます。質問は EventHub ログイン→スケジュール→各講義の欄からご入力ください。

質問締切 2022年2月13日(日)

Ⅳ ZOOM 参加について

プログラムの一部はZoomのミーティングを使用して行います。予めZOOMに接続できる環境を各自でご準備ください。

パソコンでZOOMを利用する場合は、ZOOMアプリをダウンロードしなくてもブラウザから参加できます。その場合は、Google Chrome、Firefox、Chromium Edge のいずれかのブラウザをご利用ください。

スマートフォン又はタブレットでZOOMをご利用する場合は、事前にアプリをダウンロードしていただく必要があります。

(ダウンロード先 URL <https://zoom.us/download>)

協会では個別の環境に起因するトラブルについて、サポートはいたしかねますのでご了承ください。

Ⅴ ご参加に際しての注意事項

本大会の録音、録画、保存は禁止します。

EventHub ログイン情報等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が大会プログラムに参加することは禁止いたします。

Ⅵ 大会予稿集について

予稿集及び各プログラムの資料は、EventHub で閲覧、ダウンロード(PDF)ができます。

事前配信プログラム関連資料については2月10日(木)以降、その他については、2月18日(金)以降公開予定です。

令和3年度日本語学校教育研究大会《参加申込書》

一般財団法人日本語教育振興協会事業部行

会員番号		※当協会維持会員校及び 準会員校のみご記入ください。
所属 機関名		
TEL		
事務連絡用E メール		
申込担当者 氏名		

標記大会の参加を申し込みます。

(該当する□に☑してください。)

機関区分	<input type="checkbox"/> 維持会員校・準会員校	<input type="checkbox"/> 賛助会員	<input type="checkbox"/> その他
------	-------------------------------------	-------------------------------	------------------------------

	姓	名	部署	役職	EventHub登録用Eメールアドレス (アドレスの共有不可。各自ご用意ください。)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

令和3年度日本語学校教育研究大会はオンラインイベントサイト(EventHub)を利用して開催します。以下、利用規約とプライバシーポリシーを確認の上、「同意します」にチェックしてください。

個人情報を一般財団法人日本語教育振興協会、株式会社EventHub、当イベントの他の参加者に公開することを許可し、株式会社EventHubのプライバシーポリシー (<https://eventhub.jp/privacy/>) に同意します。

同意します

2月16日(水)までに、日振協事業部<nisshinkyo2@gmail.com>宛てお申し込みください。受付後3日以内(土日祝日除く)にメールで受付番号等をお送りします。